

授業科目名	保健医療福祉行政論		担当教員	高木 晴良	科目ナンバリング NB344
選択	開講年次：3年前期	単位：2単位	授業形態：講義30時間		

【授業概要】

保健医療福祉行政の法的基盤とその目標を理解し、保健医療福祉活動を推進する行政の仕組み、制度、役割について理解する。また、人々の生活、健康問題、疾病構造の変化などに対応した、社会保障制度や保健医療福祉行政の実際について学ぶ。保健医療福祉行政のマネジメントの観点から、計画と評価、それに関連した管理に必要な視点を修得し、都道府県および市町村の保健医療福祉行政について理解を深める。

【達成目標】

1. 保健医療福祉行政の考え方(理念)を歴史的に説明することができる。
2. 保健医療福祉行政の仕組みと活動概要を対象者別に説明することができる。
3. 保健医療福祉行政の財政の仕組みについて説明することができる。
4. わが国の社会保障制度の概要を説明することができる。

【履修条件】

特になし

【授業計画】

- | | |
|---|--|
| <p>[01] ガイダンス
保健医療福祉行政の基本となるもの</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 保健医療福祉行政の根拠 2. 公衆衛生の理念と戦略 <p>[02] 公衆衛生の基盤形成</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 世界の公衆衛生の曙 2. 日本の近代公衆衛生 3. 戦後の公衆衛生政策の基盤形成 4. 近年の公衆衛生政策の発展 <p>[03] 保健医療福祉行政の動向(平成以降)</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 保健所法から地域保健法へ 2. 少子化対策の進展 3. 各分野における政策の転換と充実 <p>[04] 保健医療福祉行政の動向(平成以降)</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 各分野における政策の転換と充実 <p>[05] 国・都道府県・市区町村の行政のしくみと役割</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 行政のしくみと役割 2. 公衆衛生行政 <p>[06] 行政における保健師の役割と活動</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 保健師の配置 2. 保健師の活動体制 3. 地域における保健師の保健活動に関する指針 <p>[07] 保健医療福祉の財政</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. はじめに：財政とは 2. 国と地方公共団体の財政のしくみ 3. 予算の機能と原則 4. 社会保障の給付と財源、国民負担 <p>[08] 公衆衛生に関する国際的な活動</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 国際保健の潮流 2. 保健医療分野の国際協力 3. 国際保健に関するおもな国際機関 <p>[09] 地域保健に関する公的機関</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 地域保健体系における都道府県と市町村の役割分担 2. 都道府県型保健所(県型保健所) 3. 政令市保健所(市型保健所) 4. 市町村保健センター <p>地域・職域連携の推進</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 地域保健と学校保健の連携 | <ol style="list-style-type: none"> 2. ボランティア・NPO との協働 <p>[10] 社会保障制度と政策</p> <p>A 社会保障制度の理念としくみ</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 社会保障制度とは 2. 社会保障給付費 3. 社会保障の法規と行政体系 4. 社会保障制度をめぐる環境の変化と制度改革 <p>[11] 医療制度と政策</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 医療制度と医療保険のしくみ 2. 医療提供体制の管理と整備 3. 医療安全対策 4. 医療対策と医療提供体制 <p>[12] 介護保険制度</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 介護保険制度の概要 2. 介護保険サービスの内容 3. 地域包括支援センター 4. 地域包括ケアシステムにおける自治体の役割 5. 介護保険事業の実施状況と保健師の役割 <p>[13] 社会保障・社会福祉の制度</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 年金保険 2. 雇用保険と労働者災害補償保険 3. 公的扶助(生活保護) 4. 児童家庭福祉 5. 高齢者福祉 6. 障害者福祉 7. 成年後見制度と日常生活自立支援事業 <p>[14] 地方公共団体の保健医療福祉計画</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 保健医療福祉計画の種類と目的 2. 地域の保健医療福祉施策の各種計画 <p>[15] 保健計画の策定プロセス</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 所属内でのコンセンサスづくり 2. 保健計画の策定についての学習 3. 現状の課題やニーズの把握 4. 対策や取り組みの検討 5. 目標値の設定 6. 政策決定への住民参加 7. 保健計画策定とエンパワメント |
|---|--|

【教科書】

・標準保健師講座一別巻1 ・保健医療福祉行政論 第5版 医学書院

【参考書】

国民衛生の動向2022/2023 厚生労働統計協会

【評価方法・評価基準】

授業への参加度や発表内容等(40%)＋筆記試験(60%)

【講義のために必要な事前・事後学習】

事前学習：テキストの該当部分を事前に読み、キーワード等をチェックしておくこと。(1時間)

事後学習：講義で出てきた重要なキーワードについて復習すること。(1時間)

【教育目標(必須要素)との関連】

この科目は、教育目標の必須要素Ⅰ. 教養教育で培う普遍的基礎能力、Ⅳ. ヘルスプロモーションと予防の実践能力と関連する。

【試験や課題レポート等に関するフィードバック】

質問等があれば、講義後に対応する。

【備考】

(保選)保健師国家試験受験資格取得のための選択必修科目
保健師教育課程の履修許可を得た学生のみ履修可能